

H29年度 新規 認定看護師紹介



集中ケア認定看護師
金森 貴之

認定看護師になろうと思ったきっかけを教えてください

自ら意思表示することのできない患者さんの、声なき声を形にしたいと思ったのがきっかけです。客観的事実を理論的に捉え、ケアに活かすためには、自分自身のケアマネジメントを更に高める必要があると考えました。実践者としてモデルとなることができれば、救命センターのスタッフのケアの質の向上にも繋がるのではないかと考えます。

集中ケア認定看護師はどのような資格ですか

生命の危機的状況にある患者さんの病態を把握し、重症化や合併症を予防するために必要な看護を提供することができます。決して特別な資格ではなく、全人的看護をチームで提供するための、モデルとなりベッドサイドでの実践者となります。鎮静・鎮痛管理・早期リハビリテーションといった所がメインになると考えています。

現在どんな活動をしていますか？

今年度、資格を取得し、活動し始めたばかりですので、所属部署での実践を通じての活動を行っています。ベッドサイドでのケアマネジメントを通じ、救命センターのスタッフと共に全身状態の把握、必要なケアは何かを日々考え、実践しています。カンファレンスでは、看護学校で学習した解剖生理学の視点を取り入れながら、よりアドバンスな内容となるようにしています。

今後の抱負を教えてください。

ロールモデルとして、所属部署での実践はもちろんですが、救命センター以外の患者さんにも目を向けていきたいと思っています。また、色々なことを相談して頂けるような認定看護師になれるよう、頑張ります。どんなことでも結構ですので、声をかけて下さい。

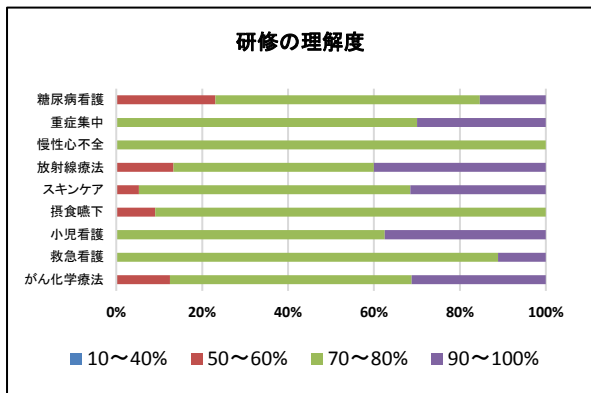
認定取得後に受けた相談と回答した内容

Q:挿管患者さんの酸素化が不良ですが、原因は何か？ 改善するためにはどのようなアプローチが必要か？
A:血液ガスデータ、胸部レントゲン、人工呼吸器設定、フィジカルアセスメントを用いて酸素化不良の原因を導き出し、ドレーナージの実施や人工呼吸器の設定変更などを医師に上申するようアドバイスしました。酸素不良の原因は4つあり、看護で改善できるものもあるので、日々の実践の中で呼吸・循環は常に考えています。このように相談に対して回答しています。お気軽にご相談ください。

H30年度もみんなで専門コースに参加しよう !!!

専門・認定看護師会では、日々の看護実践に活かすことを目的に専門コースを開催しています。専門・認定看護師が講師となって専門分野を学ぶことができます。参加した皆さんから意見を伺いましたので報告します。

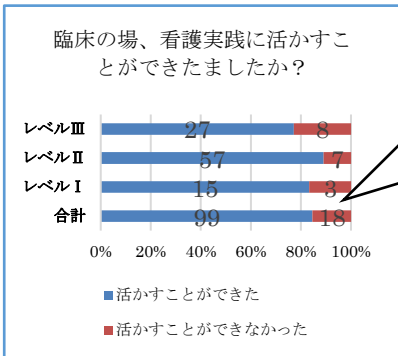
【修了後直後アンケート結果：H29年度参加者】



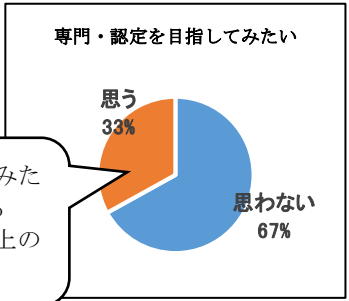
H29年度は9コース開催しました。参加希望者130名、そのうち全てに参加した看護師は102名(78.4%)でした。直接認定看護師から学ぶことができる人気のコースです。ほとんどのコースで70%以上の理解が得られました。どのコースもわかりやすい講義を心がけています。H30年度は認知症看護を新設し12コースの開催を予定しています。

【修了1・2年後アンケート結果：H27、28年度参加者】

当院では、専門コースを10年以上継続して実施しています。H27、28年度に受講した看護師に対し、研修受講後のアンケートを行いました。受講者の中で現在も当院で働いている対象者は延べ225名、そのうち有効回答121名(53.7%)から回答を得ました。



99名(82%)の看護師が学んだことを「臨床の場で活かすことができた」と答えています。専門コースは実践に役立っています。



専門・認定看護師を目指してみたいと思うと答えた看護師は33% → キャリアアップへの意欲向上の一役を担っています。